



2023年4月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東
 コード番号 7793 URL https://imagemagic.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510
 定時株主総会開催予定日 2023年7月28日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2023年7月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期の業績（2022年5月1日～2023年4月30日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期	5,291	8.1	69	△77.2	76	△73.3	48	△79.1
2022年4月期	4,896	13.1	305	38.2	286	29.8	234	53.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年4月期	21.19	19.55	3.8	3.3	1.3
2022年4月期	136.75	114.73	25.3	13.4	6.2

(参考) 持分法投資損益 2023年4月期 ー百万円 2022年4月期 ー百万円

(注) 当社株式は、2022年3月3日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2022年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期	2,335	1,313	56.2	568.06
2022年4月期	2,355	1,263	53.6	546.91

(参考) 自己資本 2023年4月期 1,313百万円 2022年4月期 1,263百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月期	131	△240	△167	679
2022年4月期	352	△141	171	955

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年4月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2023年4月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2023年12月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00		ー	

3. 2023年12月期の業績予想（2023年5月1日～2023年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	—	72	—	71	—	43	—	18.60

（注）当社は2023年7月28日開催予定の第28期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、翌期より決算期を4月末日から12月末日に変更することを予定しております。決算期変更の経過期間となる2023年12月期は2023年5月1日から2023年12月31日の8ヵ月決算となる予定です。このため、通期の対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年4月期	2,312,053株	2022年4月期	2,309,930株
2023年4月期	33株	2022年4月期	33株
2023年4月期	2,311,559株	2022年4月期	1,714,385株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により経済活動は徐々に回復傾向がみられるものの、出口の見えないロシア・ウクライナ情勢、長期間にわたる低金利政策、慢性的な半導体不足等様々な要因による供給不足に伴う物価上昇傾向により、経済情勢は依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社の属するオンデマンドプリント業界におきましては、コロナ禍を契機として人々の生活様式の変化が加速し、オンラインの消費活動が定着したことにより衣料・服飾雑貨及び生活雑貨等のEC市場は急成長を遂げ、その市場規模の拡大が続いております。

また、地球環境に対する負荷の低減に向けて、SDGsへの意識が高まるなか、アパレルメーカー等では無駄な在庫を作らない小ロット生産へのシフトが進んでおり、環境に配慮したモノづくりが求められております。

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念として、システムを活用したモノづくりのDX会社として事業を展開しております。

当社の展開するサービス内容としては、インターネットを利用して行うアパレルや雑貨を主とした商品へのオンデマンドプリントサービス及びオンデマンドプリントの仕組みであるソフトウェアやハードウェアをアパレルメーカー、印刷会社などの事業者へ提供するソリューションサービスであります。

持続的に高品質で利便性の高いサービスを提供するため、小ロット受注に対応したソフトウェアとシステムで制御できるハードウェアの開発を進めております。

また、在庫を限りなくなくし必要なときに必要な分だけ生産するとともに生産工程自動化の推進により、受注から生産、出荷までのリードタイムの短縮により無駄な物を生産しない環境に配慮したモノづくりと顧客満足との同時追求により社会に貢献できるよう努めております。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、様々な顧客ニーズに対応し、オンデマンド生産できるアイテムを拡充すべく新商品の取扱いを強化し、アイテムラインナップを拡げてまいりました。

当事業年度において、オンデマンドプリントサービスの売上高は4,843,137千円（前事業年度比9.4%増）となりました。

また、ソリューションサービスでは、ハードウェアとしてオンデマンド転写プリンター「TransJet」及びデザインシミュレーター付クラウド型オンデマンドEC「makertown」の拡販に努めてまいりました。

当事業年度において、前事業年度の大規模案件の反動もありソリューションサービスの売上高は448,577千円（前事業年度比4.4%減）となったものの、利益率が高いハードウェアに係る売上高は387,005千円（前事業年度比12.3%増）と伸長しました。

コスト面では主に物価高騰に伴う材料費及び外注加工費の増加、積極的な販売促進活動推進による広告宣伝費の大幅な増加により利益率を押し下げる結果となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は5,291,714千円（前事業年度比8.1%増）、営業利益は69,484千円（前事業年度比77.2%減）、経常利益は76,732千円（前事業年度73.3%減）、当期純利益は48,992千円（前事業年度79.1%減）となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（2）当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は2,335,015千円となり、前事業年度末と比較して20,729千円の減少となりました。

（流動資産）

当事業年度末における流動資産は1,432,372千円となり、前事業年度末と比較して269,033千円の減少となりました。これは主に売掛金及び契約資産の増加57,269千円があったものの、主に法人税等及び消費税の納付による現金及び預金の減少276,406千円、商品の減少50,707千円があったことによるものであります。

（固定資産）

当事業年度末における固定資産は902,642千円となり、前事業年度末と比較して248,303千円の増加となりました。これは主に取得した機械及び装置に係る建設仮勘定の増加192,297千円、本社増床の工事等に伴う建物の増加24,954千円によるものであります。

（流動負債）

当事業年度末における流動負債は782,577千円となり、前事業年度末と比較して45,846千円の増加となりました。これは主に納付による未払法人税等の減少85,697千円、未払消費税等の減少54,151千円があったものの、主に機械及び装置の購入による未払金の増加163,805千円、買掛金の増加30,301千円によるものであります。

（固定負債）

当事業年度末における固定負債は239,069千円となり、前事業年度末と比較して116,641千円の減少となりました。これは主に約定に基づく返済による長期借入金の減少80,574千円、リース債務の減少44,203千円によるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は1,313,368千円となり、前事業年度末と比較して50,064千円の増加となりました。これは主に当期純利益の計上48,992千円による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は679,539千円となり、前事業年度末と比較して276,406千円の減少となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、131,426千円（前事業年度は352,059千円の獲得）となりました。これは主に資金減少要因である売上債権及び契約資産の増加57,269千円、その他流動負債の減少61,980千円があった一方で、資金増加要因である税引前当期純利益の計上75,430千円、減価償却費192,074千円、棚卸資産の減少70,427千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、240,192千円（前事業年度は141,842千円の使用）となりました。これは主に、工場設備投資として機械及び装置である有形固定資産の取得による支出221,885千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、167,640千円（前事業年度は171,394千円の獲得）となりました。これは主に、約定による長期借入金の返済による支出115,868千円、リース債務の返済52,845千円があったことによるものです。

（4）今後の見通し

オンデマンドプリントサービスではコロナ禍が収束し、各種コンサートや舞台等のエンターテインメント及びスポーツ大会といったイベント開催が回復することでオリジナルグッズの受注が増加していくものと見込んでおります。

ソリューションサービスでは、当社の培ったノウハウをソフトウェア、ハードウェアの販売を通じて、提供していくことで、更なる市場拡大を目指してまいります。

なお、当社は2023年7月28日開催予定の第28期定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認されることを条件として、翌期より決算期を4月末日から12月末日に変更することを予定しております。

決算期変更の経過期間となる2023年12月期は2023年5月1日から2023年12月31日の8ヵ月決算となる予定であります。

2023年12月期（8ヵ月）の通期業績予想につきましては、売上高4,000,000千円、営業利益72,000千円、経常利益71,000千円、当期純利益43,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際会計基準の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当事業年度 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	955,945	679,539
売掛金及び契約資産	331,091	388,360
商品	102,529	51,822
仕掛品	30,308	31,452
原材料及び貯蔵品	208,069	168,907
前渡金	27,098	55,206
前払費用	34,745	40,091
その他	12,637	17,613
貸倒引当金	△1,020	△621
流動資産合計	1,701,405	1,432,372
固定資産		
有形固定資産		
建物	154,123	190,355
減価償却累計額	△23,391	△34,669
建物(純額)	130,731	155,685
機械及び装置	646,777	781,722
減価償却累計額	△370,031	△487,613
機械及び装置(純額)	276,746	294,108
車両運搬具	4,510	4,510
減価償却累計額	△3,528	△4,019
車両運搬具(純額)	981	490
工具、器具及び備品	10,880	21,516
減価償却累計額	△9,218	△11,994
工具、器具及び備品(純額)	1,661	9,522
リース資産	167,657	130,454
減価償却累計額	△51,585	△61,140
リース資産(純額)	116,071	69,313
建設仮勘定	—	192,297
有形固定資産合計	526,192	721,419
無形固定資産		
ソフトウエア	36,856	42,871
その他	—	16,886
無形固定資産合計	36,856	59,758
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	1,990	2,431
繰延税金資産	24,229	45,798
敷金及び保証金	64,885	73,050
その他	174	175
投資その他の資産合計	91,290	121,465
固定資産合計	654,339	902,642
資産合計	2,355,745	2,335,015

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当事業年度 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,444	185,746
1年内返済予定の長期借入金	115,868	80,574
リース債務	28,805	20,788
未払金	88,093	251,898
未払費用	104,283	104,969
未払法人税等	101,293	15,595
未払消費税等	73,807	19,656
前受金	24,944	47,557
預り金	16,444	15,987
賞与引当金	27,747	29,976
商品保証引当金	—	9,826
その他	—	1
流動負債合計	736,731	782,577
固定負債		
長期借入金	225,864	145,290
リース債務	102,100	57,897
資産除去債務	27,746	35,882
固定負債合計	355,710	239,069
負債合計	1,092,442	1,021,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,236	301,772
資本剰余金		
資本準備金	456,099	456,635
その他資本剰余金	19,371	19,371
資本剰余金合計	475,470	476,006
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	486,669	535,662
利益剰余金合計	486,669	535,662
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,263,303	1,313,368
純資産合計	1,263,303	1,313,368
負債純資産合計	2,355,745	2,335,015

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
売上高	4,896,562	5,291,714
売上原価		
商品期首棚卸高	926	102,529
当期商品仕入高	342,209	255,303
当期製品製造原価	2,987,686	3,291,232
合計	3,330,822	3,649,065
商品期末棚卸高	102,529	51,822
商品及び製品売上原価	3,228,292	3,597,243
売上総利益	1,668,270	1,694,471
販売費及び一般管理費	1,362,980	1,624,986
営業利益	305,289	69,484
営業外収益		
補助金収入	1,236	2,713
受取補償金	—	4,071
原材料受贈益	—	2,227
固定資産受贈益	—	1,542
その他	1,319	1,173
営業外収益合計	2,556	11,728
営業外費用		
支払利息	5,422	3,734
株式交付費	3,893	—
上場関連費用	11,463	—
その他	186	746
営業外費用合計	20,964	4,481
経常利益	286,881	76,732
特別利益		
受取補償金	47,021	—
固定資産売却益	—	1,315
特別利益合計	47,021	1,315
特別損失		
固定資産除却損	104	2,617
減損損失	9,402	—
特別損失合計	9,506	2,617
税引前当期純利益	324,396	75,430
法人税、住民税及び事業税	95,584	48,006
法人税等調整額	△5,631	△21,569
法人税等合計	89,953	26,437
当期純利益	234,442	48,992

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	94,000	248,863	108,579	357,442	252,227	252,227	△112,968	590,701	590,701
当期変動額									
新株の発行	207,236	207,236		207,236				414,473	414,473
自己株式の取得							△73	△73	△73
自己株式の処分			△71,280	△71,280			95,040	23,760	23,760
自己株式の消却			△17,928	△17,928			17,928	—	—
当期純利益					234,442	234,442		234,442	234,442
当期変動額合計	207,236	207,236	△89,208	118,028	234,442	234,442	112,894	672,601	672,601
当期末残高	301,236	456,099	19,371	475,470	486,669	486,669	△73	1,263,303	1,263,303

当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	301,236	456,099	19,371	475,470	486,669	486,669	△73	1,263,303	1,263,303
当期変動額									
新株の発行	536	536		536				1,072	1,072
自己株式の取得								—	—
自己株式の処分								—	—
自己株式の消却								—	—
当期純利益					48,992	48,992		48,992	48,992
当期変動額合計	536	536	—	536	48,992	48,992	—	50,064	50,064
当期末残高	301,772	456,635	19,371	476,006	535,662	535,662	△73	1,313,368	1,313,368

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	324,396	75,430
減価償却費	171,239	192,074
減損損失	9,402	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,020	△399
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,938	2,228
商品保証引当金の増減 (△は減少)	—	9,826
支払利息	5,422	3,734
株式交付費	3,893	—
上場関連費用	11,463	—
補助金収入	△1,236	△2,713
受取補填金	△47,021	—
固定資産売却益	—	△1,315
固定資産受贈益	—	△1,542
有形固定資産除却損	104	2,617
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	20,213	△57,269
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△137,054	70,427
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	20,499	△33,637
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,572	30,301
前受金の増減額 (△は減少)	△58,858	22,613
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	58,136	△61,980
その他	△405	8,364
小計	362,580	258,760
利息の支払額	△5,344	△3,734
補助金の受取額	1,236	2,713
補填金の受取額	47,021	—
法人税等の支払額	△53,439	△126,320
その他	4	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,059	131,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,133	△221,885
有形固定資産の売却による収入	—	25,171
無形固定資産の取得による支出	△29,563	△35,023
敷金及び保証金の差入による支出	△23,186	△8,164
敷金及び保証金の回収による収入	41	—
資産除去債務の履行による支出	—	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,842	△240,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△122,168	△115,868
リース債務の返済による支出	△29,240	△52,845
株式の発行による収入	382,379	—
上場関連費用による支出	△11,463	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	28,200	1,072
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	23,760	—
自己株式の取得による支出	△73	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,394	△167,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	381,611	△276,406
現金及び現金同等物の期首残高	574,334	955,945
現金及び現金同等物の期末残高	955,945	679,539

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり純資産額	546.91円	568.06円
1株当たり当期純利益	136.75円	21.19円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	114.73円	19.55円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式は2022年3月3日に東京証券取引所マザーズに上場しており、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (千円)	234,442	48,992
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	234,442	48,992
普通株式の期中平均株式数 (株)	1,714,385	2,311,559
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	329,063	194,002
(うち新株予約権 (株))	(329,063)	(194,002)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。